

第5号様式

(第1面)

事業活動脱炭素化取組結果報告書

(宛先) 川崎市長

郵便番号 〒225-0014

住 所 神奈川県横浜市青葉区荏田西2-3-2

氏 名 株式会社クリエイトエス・ディー

代表取締役社長 瀧屋 幸彦

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第11条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は 名称	株式会社クリエイトエス・ディー		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 宮前区土橋5-1-1		
該当する事業者の要件及 び温室効果ガスの排出を 行う産業、運輸その他の 部門	<input checked="" type="checkbox"/>	規則第4条第1号該当事業者	業務 部門
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第2号該当事業者	部門
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第3号該当事業者	部門
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第4号該当事業者	部門
主たる事業 の 業 種	大分類	I	卸売業, 小売業
	中分類	60	その他の小売業
主たる事業 の 内 容	ドラッグストア、調剤薬局の経営		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量	2,461 kL
	<input type="checkbox"/>	自動車の台数	台
	<input type="checkbox"/>	エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量	t-CO ₂
連絡先	担当部署	担 当 部 署 名	
		所 在 地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	2024年度	2026年度	(報告年度 2024年度分)
事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量及び当該量の削減に係る事項	別添	指針様式のとおり	
エネルギーの使用量及び当該量の削減に係る事項	別添	指針様式のとおり	
再生可能エネルギー源の利用及び使用するエネルギーの電化に係る事項	別添	指針様式のとおり	
自動車の使用に伴う温室効果ガスの排出の量の削減に係る事項	別添	指針様式のとおり	
温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する技術又は製品の開発等に係る事項	別添	指針様式のとおり	
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添	指針様式のとおり	
備考			

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動脱炭素化取組指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。

3 事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量及び当該量の削減に係る事項

(1) 計画期間の温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量((基)は基礎排出量を、(調)は調整後排出量を示す。以下同じ。))

		1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
基準	年度	2023	年度	2023	年度	2023	年度
目標	年度	2026	年度	2026	年度	2026	年度
基準	排出量 (t-CO ₂)	(基) 4,921 (調) 4,199		(基) (調)		(基) (調)	
目標	排出量 (t-CO ₂)	(基) 4,696 (調) 4,006		(基) (調)		(基) (調)	
削減	量 (t-CO ₂)	(基) 225 (調) 193		(基) (調)		(基) (調)	
削減	率	(基) 4.6 % (調) 4.6 %		(基) % (調) %		(基) % (調) %	

イ 温室効果ガスの排出の量の実績

		1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
第1年度	(年度)	排出量 (t-CO ₂)	(基) 4,760 (調) 4,760	(基) (調)		(基) (調)	
		削減量 (t-CO ₂)	(基) 161 (調) -561	(基) (調)		(基) (調)	
		削減率	(基) 3.3 % (調) -13.4 %	(基) % (調) %		(基) % (調) %	
第2年度	(年度)	排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)	(基) (調)		(基) (調)	
		削減量 (t-CO ₂)	(基) (調)	(基) (調)		(基) (調)	
		削減率	(基) % (調) %	(基) % (調) %		(基) % (調) %	
第3年度	(年度)	排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)	(基) (調)		(基) (調)	
		削減量 (t-CO ₂)	(基) (調)	(基) (調)		(基) (調)	
		削減率	(基) % (調) %	(基) % (調) %		(基) % (調) %	

(2) これまでの取組における温室効果ガス排出の量の削減目標等

比較年度	1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
	2017	年度	2017	年度	2017	年度
比較年度排出量 (t-CO ₂)	(基)	3,053	(基)		(基)	
	(調)	3,011	(調)		(調)	
目標排出量 (t-CO ₂)	(基)	4,696	(基)		(基)	
	(調)	4,006	(調)		(調)	
削減率 (目標)	(基)	-53.8 %	(基)	%	(基)	%
	(調)	-33.0 %	(調)	%	(調)	%
削減率 (第1年度)	(基)	-55.9 %	(基)	%	(基)	%
	(調)	-58.1 %	(調)	%	(調)	%
削減率 (第2年度)	(基)	%	(基)	%	(基)	%
	(調)	%	(調)	%	(調)	%
削減率 (第3年度)	(基)	%	(基)	%	(基)	%
	(調)	%	(調)	%	(調)	%

(3) 目標設定に関する説明

弊社では平成21年からいち早く省エネ対策の取組みを実施しております。〔①店舗別エネルギー消費量の把握 ②エアコン運用ルールを作成し全店で実施 ③店内照明の点灯ルールを作成し全店で実施 ④お買物袋ご持参運動の全店実施 ⑤店長会議にて取組み結果報告を実施して参りました。〕既存の事業所でも①高効率照明器具への更新 (LED照明器具等の導入) ②高効率空調設備の導入等を計画的に実施いたします。

(4) 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況及び措置の状況等

(計画には、計画期間内に実施する温室効果ガスの排出量の削減に向けた措置の内容を事業活動脱炭素化取組指針の別表第1から6等を参考に記載してください。)

計画	全計画期間からの継続施策 《設備面》 ①既存店舗の照明器具を高効率器具へ更新 (LED照明器具等の導入) ②既存店舗へ高効率空調設備の導入 《運用面》 ①店舗別エネルギー消費量の把握 ②エアコン運用ルールを作成し全店で実施 ③店内照明の点灯ルールを作成し全店で実施 ④お買物袋ご持参運動の全店実施⑤会議にて取組み結果報告
第1年度	設備面・・・更新なし 運用面・・・①～④の実施。④お買物袋の有料化に伴い、約85%が削減された。 ⑤は会議ではなく、担当エリアマネージャーへ光熱費 (使用量) を共有。
第2年度	
第3年度	
計画期間における排出量の増減等についての評価 (第3年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)	

4 エネルギーの使用量及び当該量の削減に係る事項

(1) エネルギーの使用量に係る原単位等の値(1、2号該当者)

原単位等の活動量		面積×時間比		原単位等の単位		kl/千㎡h
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度	
エネルギー消費原単位等の値	72.84	71.33				72.11
活動量の値	32.95	34.5				32.85
エネルギー消費原単位の削減率		2.1 %	%	%	%	1.0 %

(2) 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値(4号該当者)

原単位等の活動量		面積×時間比		原単位等の単位		
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度	
排出量原単位等の値						
活動量の値						
排出量原単位の削減率		%	%	%	%	%

(3) 目標設定に関する説明

弊社では平成21年からいち早く省エネ対策の取組みを実施しております。〔①店舗別エネルギー消費量の把握 ②エアコン運用ルールを作成し全店で実施 ③店内照明の点灯ルールを作成し全店で実施 ④お買物袋ご持参運動の全店実施 ⑤店長会議にて取組み結果報告を実施して参りました。〕既存の事業所でも①高効率照明器具への更新(LED照明器具等の導入) ②高効率空調・冷ケース設備の導入等を計画的に実施し、原単位年1%の削減を目標とします。

(4) 基準年度からの原油換算エネルギー使用量等の推移 (1、2号該当者)

ア 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
原油換算エネルギー使用量	2,400 kL	2,461 kL	kL	kL
エネルギー起源CO ₂ 排出量	4,921 t-CO ₂	4,760 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
事業所の数	47	49		

イ 事業所単位

基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kL 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度

(5) 計画期間のエネルギー消費原単位等の状況及び措置の状況等

(計画には、計画期間内に実施するエネルギー消費原単位の改善、エネルギー使用量の削減等に向けた措置の内容を事業活動脱炭素化取組指針の別表第1から6等を参考に記載してください。)

計画	<ul style="list-style-type: none"> ・店舗別エネルギー消費量の把握・エアコン運用ルールを作成し全店で実施 ・店内照明の点灯ルールを作成し全店で実施・お買物袋ご持参運動の全店実施 ・店長会議にて取組み結果報告・高効率照明器具への更新(LED照明器具等の導入) ・高効率空調・冷ケース設備の導入等を計画的に実施
第1年度	設備面の実行なし。運用面のみの対応実施。
第2年度	
第3年度	
計画期間におけるエネルギー消費原単位等についての評価 (第3年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)	

5 再生可能エネルギー源の利用及び使用するエネルギーの電化に係る事項 (1、2号該当者)

(1) 再生可能エネルギー源等の導入

ア 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入 (基準年度)

種類	設備規模 (kW)	発電量 (kWh/年)	余剰売電量 (kWh/年)	導入 (保有) 年度
太陽光				
風力				
バイオマス (燃料:)				
その他 ()				
その他 ()				
合計		0	0	

イ 使用電力の再生可能エネルギー電源比率

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度	目標年度
電力エネルギー消費量	10,768,425 kWh	11,044,106 kWh	kWh	kWh	10,768,425 kWh
再エネ電源等	538,421 kWh	552,205 kWh	kWh	kWh	538,421 kWh
再エネ電源比率	5.0 %	5.0 %	%	%	5.0 %

(2) 電気事業者等から調達する電力の排出係数

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度	目標年度
排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	0.390	0.431			0.390

(3) 使用エネルギーの電化の取組

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度	目標年度
電化の割合	100.0 %	100.0 %	%	%	100.0 %

(4) 目標設定に関する説明

太陽光発電設備の導入を検討する。
 目標年度における設定値について、現時点で検討中の段階のため基準年度の値と同じとする。

(5) 計画期間の再生可能エネルギー源等の導入、電気事業者等から調達する電力の温室効果ガス排出係数等の状況

計画	太陽光発電設備の導入を検討する。	
第 1 年度	現状、太陽光発電設備の導入可能な店舗が見つからない。	
第 2 年度		
第 3 年度		
計画期間における再生可能エネルギー源等の導入等の評価 (第 3 年度の報告時に記載)		
上記評価を踏まえた改善対策など (第 3 年度の報告時に記載)		

7 温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する技術又は製品の開発等に係る事項

(1) 全社を含む取組

ア 脱炭素表明・中長期の温室効果ガス削減目標の設定

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
(ア) 脱炭素に向けた表明の有無				
有無	2050年までの脱炭素化表明有・計画有	2050年までの脱炭素化表明有・計画有		
内容	太陽光発電設備導入店舗拡大を計画	太陽光発電設備導入店舗拡大を計画		
(イ) 脱炭素に向けた表明の達成年度の目標				
年度	2050年度	2050年度	年度	年度
(ウ) 中間目標				
目標	2030年度	2030年度	年度	年度
	50%削減 (2014)年度比	50%削減 (2014)年度比	%削減 ()年度比	%削減 ()年度比

イ 脱炭素化に資するイノベーションの取組

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	取組実績なし	取組実績なし		
内容				

ウ 中長期的な視点での温室効果ガスの排出量の削減目標

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	有	有		
内容	太陽光発電設備の導入 導入店舗数未定 2030年に2014年比で50%削減	太陽光発電設備の導入 導入店舗数未定 2030年に2014年比で50%削減		

エ 二酸化炭素を排出しない熱エネルギーの導入

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	導入なし	導入なし		
内容				

オ SBT等イニシアチブへの加盟・賛同

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
SBT	該当なし	該当なし		
RE100	該当なし	該当なし		
RE Action	該当なし	該当なし		
TCFD	該当なし	該当なし		

カ サプライチェーン全体での削減の取組

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	記載なし	記載なし		
内容				

(2) 市内事業所の取組

ア 川崎CNブランドの認定の取得

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	製品・技術等の利用なし	製品・技術等の利用なし		
認証年度				

イ 川崎メカニズム認証制度の認証の取得

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	取得なし	取得なし		
認証年度				

備考 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。

8 地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項（3から7までの事項を除く。）

（各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。）

<p>目標年度までの計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・店内照明の点灯ルールを作成し全店で実施 ・お客様へのお買物袋ご持参運動の全店実施 ・会議にて取組み結果報告
<p>第1年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・店内外照明の点灯、消灯を一部店舗でタイマーにて設定 ・お客様へのお買物袋有料化実施
<p>第2年度</p>	
<p>第3年度</p>	